

## 令和3年度 修了式 式 辞

### 「式辞」

昨日は、冬に逆戻りしたかのような 雪の一日となりましたが、学校周辺の木々も 一斉に芽吹く準備をする季節となりました。

今年度の学校生活においても、新型コロナウイルス感染症の影響を強く受け、3校時授業での下校や、学校行事の中止・延期や内容の変更、更には、部活動の活動時間の短縮や大会の中止、延期など、前年度に続いて 制限の多い 1年となりました。

先ほど、それぞれの学年の代表生徒に 修了証書を手渡しましたが、その令和3年度が、本日 締めくくりの日を迎えます。困難な状況下ではありましたが、今年度の生徒の皆さん一人一人の頑張りを、心から讃えたいと思います。

さて、2月に予定していました新入生説明会ですが、これも「コロナ禍」で中止となった行事の一つです。その中で、皆さんの後輩となる新入生に贈った、「中学生として身に付けてほしい三つの力」というお話を、来年度、同じ校舎で学ぶ皆さんにも したいと思います。

一つ目は『自分の感情をコントロールする力』です。思いどおりにならなくて イライラしたり、失敗して落ち込んだりしてしまうことは 誰にでもあります。そこで 人にあたったり、人のせいにしてたりするのは よいことではありません。自分で気持ちを切り替え、ずっと落ち着けるよう、自分に合った方法を ぜひ見つけてください。

二つ目は『自分の行動がどのような結果になるか、考える力』です。たとえば、明日はテストがあるとします。そのテストに備えて、復習したり練習をしたりしていたら、きっと自信をもってテストを受けられるでしょう。自分の行動の結果は自分に返ってきます。人とのかわり方も同じです。自分が相手にしたことの結果がどうなるか。また しなかったらどうなるか。そのとき その場で考えて判断できれば、友だちとよい関係をつくっていくことができます。

三つ目は『まわりの人の気持ちを想像する力』です。気持ちを想像するとは、まわりの人を大切にすることです。そのような人はまわりから信頼され、「この人といっしょにいたい」と思われるでしょう。人が何をしてほしいと思うか、また 何をしてほしいか、想像できる人になってください。気持ちを想像するトレーニングとして、読書をおすすめします。物語にはいろいろな登場人物が出てきます。なぜこの人は こんな行動をするのだろう、この人の

「大丈夫」という言葉と気持ちは同じなのだろうか、など、いろいろと想像する力がつきます。

ぜひ、この三つの力を これからの中学校生活で一層身に付け、毎日を生き生きと過ごしてほしいと思います。

3年生が 先日卒業しましたが、皆さんは いよいよ名実共に、上遠野中学校の伝統を引き継ぎ、学校を支えていくことになりました。既に 部活動においては、立派にその役割を果たしていますが、生徒会活動や学校行事においても、これまで先輩方が築いてきたものに、自分たちなりの発想や工夫を加え、更に充実したものを創り上げていくことを、期待しています。

来月には、後輩が入学してきます。皆さんが、明日からの春休みの中で、新たな学年に進級する「自覚」と「覚悟」を持ち、4月6日に 笑顔で登校できることを心から望み、式辞といたします。

令和4年3月23日

いわき市立上遠野中学校長 西郡 美智広